

学年:	3年生	Stage:	Stage I	コード:	O3201	単位:	3.1
モジュール名	歯周病学			科目担当責任者	小牧 基浩		
モジュール名(英字)	Periodontology			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	<p>歯周組織は、歯が口腔内に萌出するために特殊な構造をもち、細菌の存在する環境下で機能している。歯周炎は細菌に対する宿主の免疫応答として生じる炎症性疾患であり、歯の喪失の主な原因となるだけでなく、糖尿病、肥満、心血管疾患などの全身疾患との関連も指摘されている。特に超高齢社会においては、基礎疾患をもち、多くの薬剤を服用する患者も増加しており、全身状態を考慮した適切な診査・診断と歯周治療が求められる(内科的側面)。</p> <p>本講義では、解剖学、組織・病理学、細菌学、生化学、病理学、薬理学などの基礎医学の知識を基盤とし、歯周炎の病態を理解するとともに、診査・診断の基本を習得する。さらに、歯周基本治療から外科治療、再生治療、歯周形成外科術に至るまでの歯周治療法(外科的側面)を学び、実習を通じて臨床応用能力の基礎を養う。また、医科との連携の重要性を理解し、包括的な歯周治療を実践できる基礎的な能力を修得することを目的とする。</p>						
ユニット:一般目標	<p>1. 歯周病の特徴と検査、診断、分類 歯周病の様々な特徴を理解し、検査結果に基づく歯周病の診断と分類により適切な治療計画を立てる。</p> <p>2. 歯周基本治療 診断に基づく適切な治療計画を立て、歯周基本治療の目的・種類・方法を理解し、ファントム模型で実践する。</p> <p>3. 歯周外科治療と根分岐部病変 歯周外科治療や根分岐部病変治療の目的・種類・方法を理解し、ファントム模型や豚顎で実践する。</p> <p>4. 口腔機能回復治療とメンテナンス、その他の治療 口腔機能回復治療やメンテナンス・SPT、薬物療法、レーザー治療の目的・種類・方法を理解する。</p> <p>5. 突発病変とライフステージを通じた歯周治療、疫学、予防管理 ライフステージを通じた歯周治療や疫学、予防管理の目的・種類・方法を理解する。</p>						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP2,CP3
	- / - / -	a / a / -	b / a / -		
<p>a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目</p>					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 臨床歯周病学 第4版/ 齋藤淳ほか/ 医歯薬出版株式会社
 教 2/ ザ・ペリオドントロジー 第4版/ 沼部幸博ほか/ 永末書店
 教 3/ 歯周病学実習帳/ 本学教員/ 神奈川歯科大学
 HP 1/ 歯周病学基礎実習動画(日本歯周病学会監修)/ 特定非営利活動法人日本歯周病学会/ https://www.perio.jp/news/basic_practice.shtml

評価方法

出 欠 席	正当な理由のない未受講は欠席扱いとする。実習に関しては全て出席することが必要。欠席の場合は後日補完実習を行う予定。欠席した学生は実習担当者に速やかに相談して対応を求めること。						
モジュール試験(%)	60	方式はマークシート方式					
アクティビティ(%)	40	<p>実技評価:実習におけるルーブリック評価。態度評価:実習における態度評価(チェックリストあり)。場合によってはレポートや口頭試問で評価することがある。</p> <p>筆記評価:実習試験時に実施する。マークシート方式。</p>					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
			20			20	
再試験の評価方法	モジュール試験に準じたマークシート方式により評価を行う。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_001_4/6_1限	2026/04/06	1		講義	32番教室	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	ガイダンス、総論(歯周病について、解剖・組織、生理、病理、細菌、免疫、生化学、骨吸収)					
授業目標	1) 歯周病の病態、原因、治療の基本を説明できる 2) 歯周組織の特徴を説明できる 3) 咀嚼運動の概略と歯周組織の感覚について説明できる 4) 歯周病の病理組織学的変化について説明できる 5) 歯周病の発症・進行における細菌因子について説明できる 6) 歯周組織における免疫応答を説明できる 7) 歯周組織破壊の生化学的メカニズムを説明できる 8) 歯槽骨吸収のメカニズムを説明できる					
キーワード	辺縁性歯周炎、非特異細菌説、red complex、歯周病活動性、ランダムバースト説、歯周病感受性、リスクファクター、先天的因子、後天的因子、歯周組織、歯肉、セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯根膜機械受容器、反射、ポケット形成、歯周ポケット、歯肉退縮、口腔細菌叢、バイオフィーム、デンタルプラーク、病原性因子、ディスバイオシス、自然免疫、獲得免疫、免疫応答、結合組織、白血球の遊走、炎症メディエーター、組織破壊、タンパク質分解酵素、MMPs、歯槽骨、リモデリング、骨吸収破壊、サイトカイン					
担当	小牧 基浩					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P1~22, P32?49, P63?68 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-3-5,A-3-3-6,A-3-4-7,A-4-1-5,A-4-1-6,A-4-1-7,A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-d,必修4-ア-f,必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修4-イ-c,必修7-イ-c,必修7-イ-d,必修7-イ-e,必修8-ウ-d,必修8-オ-b,必修8-オ-c,必修8-オ-d,必修8-オ-e,必修8-カ-a,必修8-カ-b,必修8-カ-c,必修8-キ-c,総論Ⅱ-5-イ-b,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅱ-3-ア,総論Ⅱ-2-イ-a,総論Ⅱ-2-イ-b,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-イ,総論Ⅵ-1-ア-c,各論Ⅱ-3-ア-a,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-3-ア-c,各論Ⅱ-3-ア-d,各論Ⅱ-3-ア-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_002_4/6_2限	2026/04/06	2		講義	32番教室	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	歯周病のリスクファクター、ペリオドンタルメディシン					
授業目標	1) リスクファクターの定義と種類を説明できる 2) リスクファクターと歯周病発症との関係を説明できる 3) 歯周病の遺伝的背景を説明できる 4) ペリオドンタルメディシンを説明できる 5) 歯周病と全身疾患との関連を説明できる 6) 歯周治療が全身疾患に与える影響について説明できる					
キーワード	リスクファクター、初発因子、促進因子、宿主因子、細菌因子、環境因子、遺伝的リスクファクター、後天的リスクファクター、喫煙、栄養、ストレス、局所的因子、全身的因子、プラークリテンション因子、炎症増悪因子、外傷性因子、咬合性外傷、ブラキシズム、糖尿病、骨粗鬆症、侵襲性歯周炎、ペリオドンタルメディシン、肥満、メタボリックシンドローム、血管病変、エストロゲン、早産・低出生体重、誤嚥性肺炎、関節リウマチ、非アルコール性脂肪性肝炎、慢性腎臓病					
担当	小牧 基浩					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P23?31, P50?62 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-3,D-3-2-4,E-2-2-1,E-2-2-3,E-2-2-4,E-2-2-5,E-2-3-1,E-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ア-a,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-3-ア-h,各論Ⅱ-3-イ-e,各論Ⅱ-3-ウ-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_003_4/6_3限	2026/04/06	3		講義	32番教室	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	歯周病の分類、特殊な歯周病					
授業目標	1) 歯周病の分類に関する考え方の変遷について説明できる 2) 歯周病の分類について説明できる 3) 特殊な歯周病の種類と各々の原因・症状・治療法を説明できる					
キーワード	歯肉病変、歯周炎、慢性歯周炎、侵襲性歯周炎、遺伝性疾患に伴う歯周炎、壊死性潰瘍性歯肉炎、壊死性潰瘍性歯周炎、歯肉膿瘍、歯周膿瘍、歯周一歯肉病変、歯肉退縮、咬合性外傷、全身疾患関連歯周炎、喫煙関連歯周炎、メラニン色素沈着、ニコチン依存症、禁煙、急性ヘルペス性歯肉口内炎、剥離性歯肉炎、歯肉線維腫症、薬物性歯肉増殖症、フェニトイン、ニフェジピン、シクロスポリン、Down症候群、低フォスファターゼ症、Papillon-Lefevre症候群、良性腫瘍、悪性腫瘍、白血病性歯肉炎、好中球減少症、Chediak-Higashi症候群					

担 当	平田 貴久
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修>教1 P69?77、 P365~376 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	E-2-2-3,E-2-2-4,E-2-2-5,E-2-5-2,E-2-5-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-7-a,各論Ⅱ-3-7-c,各論Ⅱ-3-7-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_004_4/6_4限	2026/04/06	4		講義	32番教室	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	歯周病の診断・検査、治療計画					
授業目標	1) 歯周病の診断について説明できる 2) 歯周組織破壊状態の検査を説明できる 3) 歯周疾患の病因の評価を説明できる 4) 疾患活動性の検査を説明できる。 5) エックス線画像による歯周組織の評価を説明できる 6) 検査結果に基づき適切な治療計画を立てることができる					
キーワード	限局型・広汎型、軽度・中等度・重度、ブランク検査、ポケット検査、プロービング、プロービングポケットデプス、アタッチメントレベル、プロービング時の出血、動揺度、ウォーキングプロービング、歯周プローブ、根分岐部用プローブ、根分岐部病変、エックス線画像検査、クレフト型、退縮型、増大型、棚状型、フェストゥーン型、付着歯肉幅、セメント-エナメル境、ボーンサウンディング、早期接触、咬頭干渉、フレミタス、歯肉溝滲出液、唾液検査、血液細胞検査、細菌検査、血清IgG抗体価検査、口臭検査、揮発性硫黄化合物、硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイド、初診、歯周組織検査、治療計画、歯周基本治療、歯周外科治療、口腔機能回復治療、メンテナンス、SPT					
担 当	平田 貴久					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P96~107, P116?123, P108?115 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	E-2-2-3,E-2-2-4,E-2-2-5,E-2-5-2,E-2-5-3					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-3-7-a,総論VI-3-7-c,総論VI-1-7-c,総論VI-1-7-e,総論VI-1-7-f,総論VI-3-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_005_4/8_1限	2026/04/08	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	歯周病の分類と特徴					
授業目標	1) 歯周組織の破壊状態の検査を説明できる。 2) 歯周疾患の病因の評価を説明できる。 3) 疾患活動性の検査を説明できる。					
キーワード	歯肉炎、薬物性歯肉増殖症、歯周炎、ブラキシズム					
担 当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 貫衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周病の検査と診断 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-7-a,各論Ⅱ-3-7-b,各論Ⅱ-3-7-c,各論Ⅱ-3-7-d,各論Ⅱ-3-7-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_006_4/8_2限	2026/04/08	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	歯周病の分類と特徴					
授業目標	1) 歯周組織の破壊状態の検査を説明できる。 2) 歯周疾患の病因の評価を説明できる。 3) 疾患活動性の検査を説明できる。					
キーワード	歯肉炎、薬物性歯肉増殖症、歯周炎、ブラキシズム					

担 当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周病の検査と診断 <事後学修> 実習内容
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1,D-2-2-2
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-Ⅰ-b,総論VI-1-ア-c,総論VII-2-ア-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_007_4/8_3限	2026/04/08	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	治療の基本原則と治療計画					
授業目標	1)エックス線写真の読影について説明できる。 2)歯周治療計画について説明できる。					
キーワード	エックス線写真、10枚法、14枚法、歯槽硬線、白線、歯根膜腔					
担 当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周病の検査と診断、治療計画の立案 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-Ⅰ-b,総論VII-2-ア-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_008_4/8_4限	2026/04/08	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周病の特徴と検査、診断、分類					
サブユニット	治療の基本原則と治療計画					
授業目標	1)エックス線写真の読影について説明できる。 2)歯周治療計画について説明できる。					
キーワード	エックス線写真、10枚法、14枚法、歯槽硬線、白線、歯根膜腔					
担 当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周病の検査と診断、治療計画の立案 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-Ⅰ-b,総論VII-2-ア-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_009_4/13_1限	2026/04/13	1		講義	32番教室	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	総論:歯周治療体系(基本治療を中心に)、応急処置					
授業目標	1) 歯周基本治療の概念と目的を説明できる 2) 歯周基本治療の内容を説明できる 3) 急性歯周膿瘍を説明できる 4) 急性歯槽膿瘍(根尖膿瘍)との鑑別を説明できる 5) 急性歯周膿瘍の治療法を説明できる					
キーワード	歯周基本治療、原因除去療法、対症療法、応急処置、モチベーション、ブラークコントロール、不適合充填物・補綴装置の修正・除去、SRP、歯周ポケット搔爬、食片圧入の防止、歯周治療用被覆冠、治療用義歯、暫間固定、咬合調整、齲蝕治療・歯内治療、習癖の改善、矯正治療、保存不可能な歯の抜歯、禁煙指導、再評価、歯肉膿瘍、歯周膿瘍、歯槽膿瘍(根尖膿瘍)、排膿路の確保、膿瘍の洗浄、抗菌薬、固定・咬合調整					
担 当	平田 貴久					

学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P124?137 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-ウ-a,各論Ⅱ-3-ウ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_010_4/13_2限	2026/04/13	2		講義	32番教室	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	モチベーション、プラークコントロール					
授業目標	1)モチベーションの意義を説明できる 2)モチベーションが効果的な患者の選別方法を説明できる 3)学習の段階に応じた介入方法を説明できる 4)プラークコントロールの定義を説明できる 5)プラークコントロールを分類し説明できる 6)物理的・化学的方法を説明できる 7)プラークコントロールの評価法を説明できる					
キーワード	モチベーション、行動変容、プラークコントロール、セルフコントロール、プロフェッショナルコントロール、化学的プラークコントロール、物理的プラークコントロール、ブラッシング、横磨き法、縦磨き法、バス法、フォーンズ法、スクラッピング法、ローリング法、スティルマン法、スティルマン改良法、チャーターズ法、電動歯ブラシ、高速運動電動歯ブラシ、音波歯ブラシ、超音波歯ブラシ、デンタルフロス、歯間ブラシ、タフトブラシ、口腔洗浄器、SRP、歯周ポケット内洗浄、歯磨剤、洗口液、局所薬物配送システム、プラークコントロールレコード					
担当	平田 貴久					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P138?148 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_011_4/13_3限	2026/04/13	3		講義	32番教室	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	スケーリング・ルートプレーニング(SRP)					
授業目標	1)SRPの意義を説明できる 2)SRPに必要な器具を説明できる 3)SRPの方法を説明できる 4)手用スケーラーのシャープニングを説明できる。 5)超音波スケーラーの操作法について説明できる 6)SRPの難易度を決める因子について説明できる					
キーワード	歯肉縁上スケーリング、歯肉縁下スケーリング、ルートプレーニング、病的セメント質、手用スケーラー、パワードリブスケーラー、グレイシー型キュレット、ユニバーサル型キュレット、シッケル型スケーラー、超音波スケーラー、エアースケーラー、ブレード、第一シャンク、第二シャンク、ハンドル、執筆法変法、執筆法、掌握法、フィンガーレスト、ストローク、シャープニング、根の陥凹部、根分岐部					
担当	平田 貴久					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P149~164 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-b,各論Ⅱ-3-ウ-j					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_012_4/13_4限	2026/04/13	4		講義	32番教室	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	咬合性外傷と調整法、暫間固定、歯内一歯周病変、抜歯、知覚過敏、再評価					

授業目標	1) 咬合性外傷の種類と原因、臨床症状について説明できる 2) 咬合調整の目的、行う時期について学習し、術式を説明できる 3) 暫間固定の目的とその種類について説明できる 4) 暫間固定後の注意点について説明できる 5) 歯内-歯周病変の分類や成因、鑑別診断法、治療方針を説明できる 6) 抜歯の判定基準や考慮すべき事項を説明できる 7) 象牙質知覚過敏の発症や治療法を説明できる 8) 再評価の意義や検査項目を説明できる 9) 歯周ポケットの反応性を説明できる
キーワード	咬合性外傷、一次性咬合性外傷、二次性咬合性外傷、歯ぎしり、ブラキシズム、グラインディング、クレンジング、タッピング、早期接触、咬合干渉、アプフラクション、クレフト、圧痕、骨隆起、歯根膜腔の拡大、歯槽硬線の断裂・消失・肥厚、外傷性咬合、垂直性骨吸収、テンションリッジ、咬合調整、Jankelsonの分類、MUDLの法則、BULLの法則、歯冠形態修正、暫間固定、外側性固定、内側性固定、エナメルボンディングレジン固定、ワイヤー結紮レジン固定(バルカン固定法)、連続レジン冠固定、プロビジョナル固定、オクルーザルスプリント、ワイヤーレジン固定(A-スプリント)、歯内-歯周病変、上行性歯髄炎、抜歯、副根管、象牙質知覚過敏、再評価、BOP、歯周ポケットの反応性
担当	平田 貴久
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P165?173、P328?335 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-2-1,D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-b,各論Ⅱ-3-ウ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_013.4/15_1限	2026/04/15	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	歯周基本治療(ブラークコントロール)					
授業目標	1)ブラークコントロールの意義を説明できる。 2)ブラークコントロールの方法を説明をすることができる。					
キーワード	歯肉、歯槽粘膜、歯肉歯槽粘膜境、遊離歯肉、付着歯肉、歯肉溝、スティップリング、遊離歯肉溝、ブラーク、位相差顕微鏡					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 ブラークコントロール <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-イ-a,各論Ⅱ-3-イ-b,各論Ⅱ-3-イ-c,各論Ⅱ-3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_014.4/15_2限	2026/04/15	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	歯周基本治療(ブラークコントロール)					
授業目標	1)ブラークコントロールの意義を説明できる。 2)ブラークコントロールの方法を説明をすることができる。					
キーワード	歯肉、歯槽粘膜、歯肉歯槽粘膜境、遊離歯肉、付着歯肉、歯肉溝、スティップリング、遊離歯肉溝、ブラーク、位相差顕微鏡					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 ブラークコントロール <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-イ-a,各論Ⅱ-3-イ-b,各論Ⅱ-3-イ-c,各論Ⅱ-3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_015.4/15_3限	2026/04/15	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					

サブユニット	歯周基本治療 (SRP)
授業目標	1) スケーリング・ルートプレーニングの術式を説明できる。 2) スケーリング・ルートプレーニングの術式を行える。
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、スケーリング・ルートプレーニング
担当	杉原 俊太郎, 平田 貴久, 谷口 健太郎, 西村 聡一郎, 小島 みのり, 前川 敦俊, 玉木 元章, 吉田 圭佑, 難波 寛衣, 伏見 肇, 茂木 信道, 木次 大介, 大室 博正, 清水 智子, 青山 典生, 小浦 裕菜, 須藤 昌也, 山根 雅仁
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 スケーリング・ルートプレーニング <事後学修> 実習内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウb

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_016_4/15_4限	2026/04/15	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	歯周基本治療 (SRP)					
授業目標	1) スケーリング・ルートプレーニングの術式を説明できる。 2) スケーリング・ルートプレーニングの術式を行える。					
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、スケーリング・ルートプレーニング					
担当	杉原 俊太郎, 平田 貴久, 谷口 健太郎, 西村 聡一郎, 小島 みのり, 前川 敦俊, 玉木 元章, 吉田 圭佑, 難波 寛衣, 伏見 肇, 茂木 信道, 木次 大介, 大室 博正, 清水 智子, 青山 典生, 小浦 裕菜, 須藤 昌也, 山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 スケーリング・ルートプレーニング <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウb					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_017_4/20_1限	2026/04/20	1		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療の目的・基本事項、治療と再生、種類と適応					
授業目標	1) 歯周外科治療の目的を説明できる 2) 歯周外科に用いる器具・機材を説明できる 3) 歯周外科に用いる切開やフラップの種類などを説明できる 4) 歯周外科治療に用いる縫合法や結紮法を説明できる 5) 歯周外科治療後の創傷治癒を説明できる 6) 歯周病における歯槽骨再生の意義やリモデリングについて説明できる 7) 骨吸収に関係する細菌成分やサイトカインについて説明できる 8) ティッシュエンジニアリングの概要を説明できる					
キーワード	歯周外科治療、ポケットマーカ、替刃メス、カーランドメス、骨膜剥離子、骨ファイル、骨ノミ、骨チゼル、内斜切開、外斜切開、歯肉溝切開、内斜切開、全層弁、部分層弁、断続縫合、8の字縫合、懸垂縫合、連続縫合、垂直マトレス縫合、水平マトレス縫合、骨膜縫合、生物学的幅径、上皮性付着、再付着、新付着、ティッシュエンジニアリング、幹細胞、シグナル分子、足場、表面麻酔、浸潤麻酔、ボーンサウンディング、歯周バック					
担当	小牧 基浩					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P181?196 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4, D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウd, 各論Ⅱ-3-ウe, 各論Ⅱ-3-ウf					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_018_4/20_2限	2026/04/20	2		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					

サブユニット	組織付着療法・切除療法
授業目標	1) 歯周ポケット搔爬術を説明できる 2) 新付着術を説明できる 3) フラップキュレタージ(アクセスフラップ手術)を説明できる 4) ウイドマン改良フラップ手術を説明できる 5) 歯肉切除術を説明できる 6) 歯肉弁根尖側移動術を説明できる 7) 歯槽骨切除術が説明できる. 8) 歯槽骨整形術が説明できる.
キーワード	組織付着療法、歯周ポケット搔爬術、キュレット型スケーラー、ポケット上皮、不良肉芽組織、長い上皮性付着、新付着術(ENAP)、メス、内斜切開、縫合、歯周バック、ウィッドマン改良フラップ手術、一次切開、二次切開、剥離翻転、三次切開、切除療法、歯肉切除術、ポケットマーカ、カーランドメス、(カーランドナイフ)、歯肉弁根尖側移動術、歯槽骨整形術、歯槽骨切除術
担当	小牧 基浩
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P197~206 <事後206 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4,D-5-2-3-5
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_019_4/20_3限	2026/04/20	3		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周組織再生療法					
授業目標	1) 骨移植術の理論を説明できる 2) 骨移植材の種類および特徴、応用方法を説明できる 3) GTR法、GBR法の理論を説明できる 4) GTR法、GBR法に使用する材料と術式を説明できる					
キーワード	歯周組織再生療法、骨移植術、骨移植材、自家骨移植、他家骨移植、人工骨移植、骨形成能、骨誘導能、骨伝導能、ハイドロキシアパタイト、リン酸三カルシウム、組織再生誘導法(GTR法)、結合組織性付着、保護膜、吸収性膜、非吸収性膜、コーンプライヤー、骨再生誘導法(GBR法)、GBR膜					
担当	杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P207?244 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_020_4/20_4限	2026/04/20	4		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周組織再生療法					
授業目標	1) 増殖因子などを応用した再生療法の理論を説明できる 2) 増殖因子などを応用した再生医療に使用する材料と術式を説明できる 3) ティッシュエンジニアリングおよび細胞治療の定義・種類について説明できる					
キーワード	血小板由来増殖因子(PDGF)、骨形成タンパク質(BMP)、塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)、脳由来神経栄養因子(BDNF)、リン酸三カルシウム(TCP)、エナメルマトリックスデリバティブ(EMD)、エムドゲイン、アメロジェニン、未分化間葉系細胞、リグロス、多血小板血漿(PRP)、ティッシュエンジニアリング、幹細胞、シグナル分子、足場					
担当	杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P156~169 P185~190 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_021_4/22_1限	2026/04/22	1		実習	臨床実習室1	60

ユニット	歯周基本治療
サブユニット	歯周基本治療(SRP)
授業目標	1)スケーリング・ルートプレーニングの術式を説明できる。 2)スケーリング・ルートプレーニングの術式を行える。
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、スケーリング・ルートプレーニング
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 スケーリング・ルートプレーニング <事後学修> 実習内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_022_4/22_2限	2026/04/22	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1)歯周外科手術の術式を説明できる。 2)歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3)歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、内斜切開、外斜切開、歯周パック、全層弁、部分層弁、単純縫合、連続縫合、マットレス縫合、再付着、新付着、組織再生、組織修復					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_023_4/22_3限	2026/04/22	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1)歯周外科手術の術式を説明できる。 2)歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3)歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、内斜切開、外斜切開、歯周パック、全層弁、部分層弁、単純縫合、連続縫合、マットレス縫合、再付着、新付着、組織再生、組織修復					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_024_4/22_4限	2026/04/22	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					

授業目標	1) 歯周外科手術の術式を説明できる。 2) 歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3) 歯周外科治療の術式を行える。
キーワード	表面麻酔、浸潤麻酔、スケーラー、内斜切開、外斜切開、歯周バック、全層弁、部分層弁、単純縫合、連続縫合、マットレス縫合、再付着、新付着、組織再生、組織修復
担当	杉原 俊太郎, 平田 貴久, 谷口 健太郎, 西村 聡一郎, 小島 みのり, 前川 敦俊, 玉木 元章, 吉田 圭佑, 難波 實衣, 伏見 肇, 茂木 信道, 木次 大介, 大室 博正, 清水 智子, 青山 典生, 小浦 裕菜, 須藤 昌也, 山根 雅仁
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_025_4/27_1限	2026/04/27	1		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周形成手術					
授業目標	1) 歯周形成手術の種類を説明できる 2) 遊離歯肉移植術を説明できる 3) 歯肉結合組織移植術を説明できる					
キーワード	歯周形成手術、遊離歯肉移植術、付着歯肉幅の拡大、根面被覆、移植片、歯肉結合組織移植術、Millerの歯肉退縮の分類					
担当	杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 170~176 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_026_4/27_2限	2026/04/27	2		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周形成手術					
授業目標	1) 歯肉弁側方移動術を説明できる 2) 歯肉弁歯冠側移動術を説明できる 3) 歯肉弁根尖側移動術を説明できる 4) 小帯切除術を説明できる					
キーワード	歯肉弁側方移動術、歯肉弁歯冠側移動術、歯肉弁根尖側移動術、両側乳頭弁移動術、小帯切除術、口腔前庭開窓術、口腔前庭拡張術					
担当	杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 170~176 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_027_4/27_3限	2026/04/27	3		講義	32番教室	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	根分岐部病変の検査・診断・治療法					
授業目標	1) 根分岐部病変の病態について説明できる 2) 根分岐部病変の検査と治療方針を説明できる 3) 歯根の保存療法を説明できる 4) 歯根の切除療法を説明できる					

キーワード	根分岐部病変、分岐部用プローブ(ファーケーションプローブ)、Glickmanの分類、LindheとNymanの分類、Tarnowの分類、エナメル突起、エナメル滴、根面溝、歯根離開度、ルートトランク、歯根保存療法、分岐部整形術、ファーケーションプラスチック、トンネル形成、歯根分離(ルートセパレーション)、GTR法、歯根の切断除去療法、歯根切除(ルートリセクション)、歯根分割除去(ヘミセクション)、トライセクション
担当	小牧 基浩
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P177~181 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_028_4/27_4限	2026/04/27	4		講義	32番教室	60
ユニット	口腔機能回復治療とメンテナンス、その他の治療					
サブユニット	口腔機能回復治療(矯正治療、修復・補綴治療、インプラント治療)					
授業目標	1) 矯正治療における歯周組織の状態について説明できる 2) 歯周病患者における矯正治療の目的と適応について説明できる 3) 修復・補綴治療と歯周組織の関係について説明できる 4) 歯周病患者における修復・補綴治療の適応と目的、治療法について説明できる 5) インプラント周囲組織の特徴を説明できる 6) 歯周治療におけるインプラントの有用性を説明できる 7) インプラント周囲疾患を説明できる 8) インプラントのメンテナンスを説明できる					
キーワード	歯列不正、早期接触、咬合性外傷、歯周一矯正治療、炎症、保定、歯周補綴、生物学的幅径、頬舌の形態、接触点間距離、エマージェンシプロファイル、固定制ブリッジ、Anteの法則、クロスアーチ、カンチレバー、部分床義歯、審美性、ブラケットライアングル、プロビジョナルレストレーション					
担当	小牧 基浩					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P182~193 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_029_5/11_1限	2026/05/11	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	歯周病における咬合治療					
授業目標	1) 暫間固定装置の作成方法が説明できる。					
キーワード	外傷性咬合、早期接触、咬合干渉、ブラキシズム、垂直性骨吸収、咬合調整、歯冠形態修正、BULLの法則、MUDLの法則、Jankelsonの分類、暫間固定法、永久固定法、エナメルボンディングレジジン固定、A-スプリント					
担当	杉原 俊太郎, 平田 貴久, 谷口 健太郎, 西村 聡一郎, 小島 みのり, 前川 敦俊, 玉木 元章, 吉田 圭佑, 難波 實衣, 伏見 肇, 茂木 信道, 木次 大介, 大室 博正, 清水 智子, 青山 典生, 小浦 裕菜, 須藤 昌也, 山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_030_5/11_2限	2026/05/11	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周基本治療					
サブユニット	歯周病における咬合治療					
授業目標	1) 暫間固定装置の作成方法が説明できる。					
キーワード	外傷性咬合、早期接触、咬合干渉、ブラキシズム、垂直性骨吸収、咬合調整、歯冠形態修正、BULLの法則、MUDLの法則、Jankelsonの分類、暫間固定法、永久固定法、エナメルボンディングレジジン固定、A-スプリント					

担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_031_5/11_3限	2026/05/11	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	全ユニット					
サブユニット	実習試験					
授業目標	全ての歯周治療の確認					
キーワード	歯周基本治療、歯周外科治療					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1,D-2-2-2,D-2-4-1,D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3,D-5-2-3-4,D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-ウ-a,各論Ⅱ-3-ウ-b,各論Ⅱ-3-ウ-c,各論Ⅱ-3-ウ-d,各論Ⅱ-3-ウ-e,各論Ⅱ-3-ウ-f,各論Ⅱ-3-ウ-g,各論Ⅱ-3-ウ-h,各論Ⅱ-3-ウ-i,各論Ⅱ-3-ウ-j,各論Ⅱ-3-ウ-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_032_5/11_4限	2026/05/11	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	全ユニット					
サブユニット	振り返り実習					
授業目標	全ての歯周治療の確認					
キーワード	歯周基本治療、歯周外科治療					
担当	杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 歯周外科治療 <事後学修> 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1,D-2-2-2,D-2-4-1,D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3,D-5-2-3-4,D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-ウ-a,各論Ⅱ-3-ウ-b,各論Ⅱ-3-ウ-c,各論Ⅱ-3-ウ-d,各論Ⅱ-3-ウ-e,各論Ⅱ-3-ウ-f,各論Ⅱ-3-ウ-g,各論Ⅱ-3-ウ-h,各論Ⅱ-3-ウ-i,各論Ⅱ-3-ウ-j,各論Ⅱ-3-ウ-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_033_5/13_1限	2026/05/13	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1)歯周外科手術の術式を説明できる。 2)歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3)歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	スケーラー、切開、剥離、縫合、付着、歯周組織再生療法、歯周形成手術					
担当	児玉 利朗,杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 咬合治療 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					

国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d
--------------	-----------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_034_5/13_2限	2026/05/13	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1) 歯周外科手術の術式を説明できる。 2) 歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3) 歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	スケーラー、切開、剥離、縫合、付着、歯周組織再生療法、歯周形成手術					
担当	児玉 利朗,杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 咬合治療 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_035_5/13_3限	2026/05/13	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1) 歯周外科手術の術式を説明できる。 2) 歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3) 歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	スケーラー、切開、剥離、縫合、付着、歯周組織再生療法、歯周形成手術					
担当	児玉 利朗,杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 咬合治療 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_036_5/13_4限	2026/05/13	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	歯周外科治療と根分岐部病変					
サブユニット	歯周外科治療					
授業目標	1) 歯周外科手術の術式を説明できる。 2) 歯周外科手術に使用する器具の扱い方を説明できる。 3) 歯周外科治療の術式を行える。					
キーワード	スケーラー、切開、剥離、縫合、付着、歯周組織再生療法、歯周形成手術					
担当	児玉 利朗,杉原 俊太郎,平田 貴久,谷口 健太郎,西村 聡一郎,小島 みのり,前川 敦俊,玉木 元章,吉田 圭佑,難波 實衣,伏見 肇,茂木 信道,木次 大介,大室 博正,清水 智子,青山 典生,小浦 裕菜,須藤 昌也,山根 雅仁					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教3 咬合治療 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_037_5/18_1限	2026/05/18	1		講義	32番教室	60

ユニット	口腔機能回復治療とメンテナンス、その他の治療
サブユニット	メンテナンス・SPT
授業目標	1) メンテナンス・SPTの意義と目的について説明できる 2) リコールシステムについて説明できる 3) メンテナンス・SPT来院時の検査と治療について説明できる
キーワード	メンテナンス、サポーティブペリオドンタルセラピー (SPT)、治愈、病状安定、再発、セルフケア、プロフェッショナルケア、SRP、局所薬物配送システム、PTC、PMTC、リコール
担当	谷口 健太郎
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P194~199 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-5
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウj

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_038_5/18_2限	2026/05/18	2		講義	32番教室	60
ユニット	口腔機能回復治療とメンテナンス、その他の治療					
サブユニット	その他の治療(薬物療法、レーザー)					
授業目標	1) 歯周薬物療法の概念を説明できる 2) 歯周治療に用いる局所投与薬剤を説明できる 3) 歯周治療に用いる全身投与薬剤を説明できる 4) レーザーの発振原理と特性および生体組織に及ぼす影響について説明できる 5) 各種レーザーの特徴について概説できる 6) レーザー治療の意義と歯周治療への各種レーザーの応用について説明できる					
キーワード	薬物療法、全身投与、局所投与、抗菌薬、歯周ポケット内洗浄、ポビドンヨード、局所薬物配送療法(LDDS)、ミノサイクリン塩酸塩、クロルヘキシジン、補助的療法、レーザー、炭酸ガスレーザー、ネオジウム・ヤグレーザー、半導体レーザー、エルビウム・ヤグレーザー、歯肉切除・整形、メラニン除去、歯石除去、不良肉芽組織の除去、低出力レーザー治療、抗菌的光線力学療法					
担当	谷口 健太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P200~207 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-1-1-3,D-5-2-3-1,D-5-2-3-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ウi					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_039_5/18_3限	2026/05/18	3		講義	32番教室	60
ユニット	ライフステージを通じた歯周治療と疫学、予防管理					
サブユニット	歯周組織の突発病変の概要、ライフステージを通じた歯周治療					
授業目標	1) 突発的な歯の動揺の原因と治療法を説明できる 2) 歯の挺出の原因と治療法を説明できる 3) 腫脹・膿瘍形成の原因と治療法を説明できる 4) 歯肉の異常増殖の原因と治療法を説明できる 5) 歯周外科処置後における持続性出血の原因と対策を説明できる 6) 歯周組織における急性および慢性疼痛の原因と対策を説明できる 7) ポケット再発の原因と対策を説明できる 8) ビスホスホネート関連顎骨壊死について説明できる 9) 小児の歯周疾患の特徴を説明できる 10) 思春期の歯周疾患の特徴を説明できる 11) 妊娠性歯肉炎の特徴を説明できる 12) 高齢者の歯周疾患の特徴を説明できる 13) 更年期、周術期における歯周疾患の特徴を説明できる					
キーワード	突発的な歯の動揺、葉の破折、歯根破折、歯の挺出、歯周膿瘍、肉芽組織、異常増殖、持続性出血、急性・慢性疼痛、ポケット再発、ビスホスホネート関連顎骨壊死(BRONJ)、ライフステージに応じた歯周治療、小児期、Papillon-Lefevre症候群、Down症候群、好中球減少症、低フォスファターゼ症、限局型侵襲性歯肉炎、思春期、P. intermedia、エストロゲン、プロゲステロン、妊娠性歯肉炎、高齢者、フレイル、嚥下障害、更年期、周術期、ドライマウス、骨粗鬆症					
担当	平田 貴久					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P210~236 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-2-1,D-2-2-2,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					

国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ア-c,各論Ⅱ-3-ア-e,各論Ⅱ-3-ア-h,各論Ⅱ-3-ウ-k,各論Ⅱ-3-イ-a,各論Ⅱ-3-イ-b,各論Ⅴ-6-ア,各論Ⅴ-8-ウ
--------------	---

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_040_5/18_4限	2026/05/18	4		講義	32番教室	60
ユニット	ライフステージを通じた歯周治療と疫学、予防管理					
サブユニット	歯周病の疫学、歯周病の予防管理					
授業目標	1) 疫学調査の目的と調査手法について説明できる 2) 歯周病の調査で用いられる疫学指標について説明できる 3) 国内外の歯周病罹患状況について説明できる 4) 歯周病における予防概念を説明できる 5) ライフステージにおける歯周病予防法について説明できる 6) 歯科関係者と多職種との連携内容を説明できる					
キーワード	疫学、記述疫学、分析疫学、疫学指数、口腔衛生指数、簡易型口腔衛生指数、プラーク指数、プラークコントロールレコード、PMA指数、歯肉炎指数、歯肉溝出血指数、歯肉出血指数、歯周組織指数、歯周疾患指数、地域歯周疾患指数、歯周疾患実態調査、疾病予防、口腔保健、一次予防、二次予防、三次予防、プロフェッショナルケア、ホームケア、パブリックケア、ライフステージ、多職種連携					
担当	平田 貴久					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 P237~253 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅰ-6-イ-b,総論Ⅰ-6-エ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_041_5/19_1限	2026/05/19	1		実習	臨床実習室2	60
ユニット	全ユニット					
サブユニット	補講(必要に応じて)					
授業目標	補講(必要に応じて)					
キーワード	全て					
担当	平田 貴久,杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 指定範囲 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_042_5/19_2限	2026/05/19	2		実習	臨床実習室2	60
ユニット	全ユニット					
サブユニット	補講(必要に応じて)					
授業目標	補講(必要に応じて)					
キーワード	全て					
担当	平田 貴久,杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 指定範囲 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_043_5/19_3限	2026/05/19	3		実習	臨床実習室2	60
ユニット	全ユニット					

サブユニット	補講(必要に応じて)
授業目標	補講(必要に応じて)
キーワード	全て
担当	平田 貴久,杉原 俊太郎
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 指定範囲 <事後学修> 講義内容
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3201_044_5/19_4限	2026/05/19	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	全ユニット					
サブユニット	補講(必要に応じて)					
授業目標	補講(必要に応じて)					
キーワード	全て					
担当	平田 貴久,杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	<事前学修> 教1 指定範囲 <事後学修> 講義内容					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						